

色材セミナー2018

『焼付けない自動車ボディ仕上げの可能性』

温室効果ガスであるCO2の排出低減は喫緊の課題であり、基幹産業である自動車製造でも取組まれているところであります。しかし、車体塗装では焼付け工程で消費するエネルギーが大きいことから、将来は焼付けなしで自動車を仕上げる技術が望まれます。今回、3名の講師を招いてご講演いただき、聴講者も含めた討論の場になればと考えております。また、セミナー後に講師を囲んでの技術交流会も開きますので、あわせてご参加をお待ちしております。

主催 (社)色材協会 中部支部

協賛 名古屋テキスタイル研究会, 日本色彩学会東海支部, 日本デザイン協会, 名古屋産業振興公社, 愛知工研協会, 高分子学会東海支部, 中部塗装技術研究会, 東海化学工業会, 日本塗料工業会, 日本化学会東海支部, 日本接着学会中部支部, 有機合成化学協会東海支部, 表面技術協会中部支部, 日本油化学会東海支部, 化学工学会東海支部, 日本分析化学会中部支部, 電気化学会東海支部, 自動車技術会中部支部

日時 平成30年3月16日(金) 13:00~16:50

場所 名古屋市工業研究所 第2会議室(管理棟4F) 名古屋市熱田区六番3丁目4-41
(地下鉄, 市バス, 「六番町」下車, 南西へ徒歩約2分)

演題・講師

1. 塗膜の電子線硬化技術

株式会社アーテック 取締役 技術部長 畑 宏則 氏

塗膜の電子線硬化技術は、現状では被塗物形状の制約等に課題があるものの、硬化が瞬時で紫外線硬化よりも高速であり、厚膜や顔料を含む系にも適用できるうえ、塗膜は耐久性、耐傷性、耐汚染性、付着性等の屋外用途で重要な性能が非常に優れる。電子線硬化技術のメリット・デメリットを総合的に解説する。

2. 自動車外装への新しい提案 ―Wet工法からDry工法へ―

布施真空株式会社 社長 三浦 高行 氏

3次元表面加飾工法TOMについて解説し、その飛躍的發展として自動車ボディを含む超大型製品への適用が可能になったNeo-TOM工法を紹介する。この工法は表面加飾の機能・性能の向上とともに作業環境の改善に貢献するCore技術である。

3. 焼付けない自動車仕上げへの期待

トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 有機材料技術部 部長 永井 隆之 氏

弊社では2015年秋に「トヨタ環境チャレンジ2050」を発表しており、この中で①新車CO2ゼロ②ライフサイクルCO2ゼロ③工場CO2ゼロ にチャレンジすることを宣言した。現在、工場から排出されるCO2の約1割が塗装工程から発生しており、この工程のエネルギーを画期的に下げる技術を開発し、環境にもお客様にも喜ばれる自動車表面処理を開発したい。

☆事前質問を受付けます。ホームページ申込み欄か、下記申込書への記入をお願いします。(E-mail 不可)

参加費 会員・協賛団体 8,000円, 一般 11,000円, 学生 2,000円 (テキスト代含む、税込)

技術交流会 (講師を囲んで) 会員 無料, 会員外 500円 (管理棟2F, 交流フロア **17:00~18:00**)

定員 100名 (先着順)

申込方法 3月2日(金)までに下記申込書を郵送またはFAX, E-mailでお送り下さい。

申込みフォーム(←ここをクリック)からもお申込みいただけます。 下記ホームページからもお申込みいただけます。

色材協会中部支部 <http://www.shikizai-chubu.org/>

中部科学技術センター 学協会事務局 <http://www.c-goudou.org/>

会費は、みずほ銀行 名古屋支店 普通預金口座No.1106150 色材協会 中部支部宛 振込み、または、下記申込先に現金書留でお送りください。

申込先 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 中部科学技術センター内 色材協会 中部支部

TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469 E-mail: t.imukai@c-goudou.org

色材セミナー2018『焼付けない自動車ボディ仕上げの可能性』参加申込書

社団法人 色材協会中部支部 御中 FAX 052-204-1469

平成 年 月 日

会社名 _____

加入団体名 _____

〒 所在地 および 電話番号 _____

参加者	所属	E-メールアドレス	交流会出欠

参加者 名, 参加費 円を 月 日に送金いたします。

事前に質問などあればご記入ください。予め講師に伝達しますので活発な討論をお願いします。